

キャパシティ・ビルディング作業計画

(第31回委員会年次会合 (2024年10月10日) において合意)

1. 目的

- 目的1: データ収集の改善
- 目的2: 科学的解析の改善
- 目的3: 遵守関連活動の改善

2. ニーズ評価

活動: ニーズ評価を実施する。

説明: パフォーマンスの分析及び関連する補助機関 (すなわち遵守委員会及び拡大科学委員会) からのフィードバックを通じて、スキル、知見及びリソースにかかる既存のギャップを特定する。

責任: 事務局、CC 及び ESC 議長、遵守委員会及び拡大科学委員会、メンバー

スケジュール:

- 事務局は、ESC 及び CC 会合に対して予備的評価文書を提出する。
- ESC 及び CC は、ニーズ評価を最終化する。

必要なリソース: 遵守データ、補助機関の議長及び科学諮問パネルからのフィードバック

成果物: 合意されたニーズ評価報告書

3. メンバーとの調整及びキャパシティ・ビルディング・イニシアティブの策定

活動: 事務局は、ニーズ評価を通じて特定されたメンバーと調整し、対象を絞ったキャパシティ・ビルディング・イニシアティブ (必要な予算、パフォーマンスの指標及びリスク管理計画を含む) に合意する。

説明: キャパシティ・ビルディング・イニシアティブへの意見を収集するとともに支援体制を構築するため、メンバーの行政側における主要な関係者を関与させる。

責任: 事務局、関連メンバー

スケジュール: ESC 及び CC 会合の閉会后

必要なリソース: 事務局スタッフ及びメンバーの行政官の都合

成果物: 関連するメンバーが計画されたキャパシティ・ビルディング・イニシアティブを認識し、これを支援する。

4. 予算

活動：キャパシティ・ビルディング・イニシアティブ関連予算を策定し、これを管理する。

説明：キャパシティ・ビルディング活動に必要な財政的リソースを総括及び管理する。利用可能な場合は外部資金調達の機会を求める。

責任：事務局

スケジュール：より広範な予算報告義務と合わせて対応する。

必要なリソース：外部の請負業者を管理するために事務局が費やす業務時間（これ以外はリソース要件が制限される）

成果物：FACにおける承認予算

5. キャパシティ・ビルディング・イニシアティブの実施

活動：計画された活動（研修会、現地視察及びワークショップ等）を実施する。

説明：特定されたスキルのギャップに対処するためのトレーニングプログラムを実施する。

責任：事務局（関連メンバーとの協議）

スケジュール：2026年以降

必要なリソース：事務局の業務時間、出張、トレーニング教材、会場、外部専門家

成果物：活動報告書、参加者によるフィードバック

6. モニタリング及び評価

活動：指標に対する何らかのパフォーマンスの変化についてモニタリング及び評価を行う。

説明：進捗状況を追跡するためのシステムを導入するとともに、キャパシティ・ビルディング・イニシアティブの有効性を評価する。

責任：事務局

スケジュール：拡大委員会年次会合の前

必要なリソース：パフォーマンス指標に関連するデータの取りまとめに事務局が費やす業務時間

成果物：概要報告書のモニタリング及び評価

7. 報告及びフィードバック

活動：個別のイニシアティブに関する知見を報告し、フィードバックを収集する。

説明：進捗状況及び成果に関する報告書を作成及び提出するとともに、継続的な改善に向けたフィードバックを収集する。

責任：事務局

スケジュール：拡大委員会年次会合

必要なリソース：報告書の作成に事務局が費やす業務時間。報告書を評価する補助機関

成果物：補助機関に対する最終報告書

8. キャパシティ・ビルディング・作業計画のレビュー及び調整

活動：キャパシティ・ビルディング・イニシアティブの対象、策定及び実施に用いられたアプローチをレビューし、必要に応じて調整する。

説明：作業計画を定期的にレビューし、フィードバック及び新たなニーズに基づき、必要に応じてこれを調整する。

責任：拡大委員会

スケジュール：最初のレビューは3年後、その後は5年ごと

必要なリソース：拡大委員会による全体的評価に向けたレビューを提示する事務局及び補助機関

成果物：更新された作業計画

